

中 砺波同窓会 会報

— 平成29年8月・第33号 —



(第89回東京砺波同窓会総会)



響き合う学び

同窓会長 新納 耕 一

本校の創立110周年記念事業が、平成31年4月に予定されています。実行委員会が立ち上がり、事業内容について検討すべく準備に入っています。記念式典・記念講演会・100周年以降の10年間の歩み等々に関しては、今年の8月17日(木)の定期総会において、正式に決定して頂こうと考えています。

この10年間と言えば、世界でも、日本でも様々な出来事が起こり、世の中は大きくさま変わりしました。昔は十年ひと昔と言いましたが、今は一年ひと昔と言っても過言ではありません。一国の指導者が変わることで、世界の歩もうとする方向が変わったり、あちこちで戦争の火種になる動きがくすぶり続けていたりします。

さて、母校に目を転ずれば、生徒たちは今年の創立記念講演会で、大変有意義な話を聞きました。金沢大学大学院教授の松本謙一先生(高28回)の「今を生きる」と題しての講演です。答えのある勉強も答えのない勉強もあること、自分で考えやり抜いた後には、次のステッ

プに進むヒントを得ることができるなど多くを学びました。そして、命を大切に自信をもって前に進むよう励ましを受けました。

また、先般、母校のICT(情報通信技術)機器を使った公開授業の記事が新聞に載りました。生徒個々の理解度や進度に合わせたプログラムになっており、正答率が100%になるまで繰り返し学習することにより、基礎知識を習得することができるということです。生徒たちの学びの世界は、その方法や手段は変わります。これからはスピード感を増して変わっていくでしょう。

一方、人間としての「生き方」の学びの多くは、日々の人や自然の動植物、生きとし生けるもの全ての交わりの中で身につけていきます。しかし、こちらはゆっくりと進みます。私たちは、お互いに心に響く学び合いができる日常でありたいと思います。

終わりにになりましたが、同窓会の方々には、常日頃から何かと温かいご支援を頂いていることに心より感謝申し上げます。今後とも、母校の限りない発展を願うと共に、温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



両面思考

校長 林 誠 一

礪波同窓会の皆様には、日頃から本校教育活動に多大なご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今日、急速で急激な社会の変化の中、学校には教育の質的な転換が求められています。それらの議論の中には、相反し矛盾するように見えるものが少なくありません。例えば「詰め込み」か「ゆとり」か、「知識」か「体験」か、「自由」か「規律」か、「指導」か「支援」かなど、二項対立的な議論をよく見聞します。それが一方的なバッシングとなったり、建設的ではなく単なる懐古調であったりすることも多く、私自身、興が冷めてしまうこともしばしばです。

ところで、これら二項対立に示されがちな論点は、本当に矛盾する概念なのでしょうか。目的と手段を混同していることはないでしょうか。改革の波を学校が受け止め、判断を誤らず対応するためには、二項対立

的な側面をうまく調和させながら、まとまりのあるものに変換して課題を解決することが大事だと思えてなりません。

「孫子」の言葉に、「智者の慮（りょ）は必ず利害に雑（まじ）う」というものがあります。これは、「智者」が判断を誤らないのは「必ず利害に雑う」、利と害の両面からものごとを考えるからだという意味です。このような考え方は、中国の長い歴史の中から生まれており、「両面思考」と言われています。よく考えてみると、事物・現象の多くは相対立する要素から成り立っていて、一方があるからもう一方があり、対立しながらもかかわり合い、絡み合っているといえます。この「両面思考」は、様々な教育の問題を解決する際の軸になるとともに、問題解決の連続である日常生活、生き方にかかわって、本質的なことを示唆しているように思います。

本校は、「すべては生徒のために」を基本理念とし、よき伝統を継承しながらも、「両面思考」を大切に、常に革新的でありたいと考えています。

礪波同窓会の皆様の変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成29年度

礪波同窓会理事会開催

～平成31年110周年にむけて～

4月17日、松鷹会館多目的ホールにて新納会長以下37名（学校側15名を含む）出席のもと理事会が開催されました。会務報告および会計決算報告に続き、総会には高3,13,23,33,43,53,63回、定時制3,13,23回卒業生を招待回とすることが承認されました。また、2019年4月17日(水)の創立110周年記念事業（記念講演会、祝賀会、記念誌：百年史以降の10年分）の開催について事務局から提案がありました。その中で、予算は周年事業積立金で行うこと、今後、同窓会の役員の方に数名加わっていただき校内を中心とした準備委員会をたちあげること、総会でより具体化した案を示すことが確認されました。その後、30年度役員改選については、役員会を開き総会に諮ることが提案されました。

また、今年の碧流会ゴルフコンペは綿貫民輔名誉会長（中32）の卒寿を記念し9月24日(日)に企画されているとの報告がありました。

理事会終了後は『TONAMI翔凜館（旧砺波平安閣）』に場所を移し、松本謙一（高24）記念講演講師を交え、懇親会が開催されました。



食堂に感謝

創立50周年記念事業の一環として、昭和35年9月24日に専任職員4名とアルバイト（生徒）2名でスタートし、昭和57年松鷹会館竣工の翌年1月から現在の場所で再営業した食堂は、2017年2月3日が最後の利用日となりました。

開設当時の営業は、午前11時半から午後1時半までの昼食時と午後3時半から7時半までの2回。3時半からは部活を終えた生徒、5時すぎからは職場から空腹を抱え登校して勉強する定時制生徒が食堂に集まったそうです。（百年史273頁、507頁より）

同窓生の方には、思い出のある場所だった方も多いのではないのでしょうか？



各支部総会・役員会報告

東京支部

東京礪波同窓会第89回定時総会・懇親会が4月22日(土)大手町サンケイプラザにて盛会裏に催された。

第一部の総会は物故会員に対する黙とうで始まり、中村会長(高14)が挨拶を述べ、併せて、これまでの長田測量設計事務所から浅見昭子税理士事務所への事務局の移転が完了し、また、有志幹事が会員への通信発送等に協力する新しい体制が機能し始めたことを報告した。続いて会長が議長を務めて議事に入った。平成28年度の決算・事業報告などの議案は全会の拍手をもって承認された。

総会の締めくくりは新納耕一礪波同窓会会長の挨拶で、今年188名の新会員を迎え同窓生は二万一千余名を数えるに至ったこと、平成31年には礪波高等学校創立110周年を迎えること、また、礪波同窓会綿貫民輔名誉会長の卒寿を記念するゴルフコンペ開催の紹介があった。

第二部の講演会では、米林和吉氏(高14回、弁護士、平成26年旭日小綬章受章)から「礪波を後にして55年、弁護士45年、老いても、なかなか…」と題してお話をいただいた。高校卒業後の上京進学、そして、司法修習で弁護士を選択されるまでの秘話、氏自身が「運に恵まれた」とする良師との出会い、そして、45年にわたるこれまでの弁護士人生を振り返っていた。最後に、外山滋比古氏の著作から「浜までは海女も着る時雨かな(瓢水)」の句を引いて最後までわが身を愛おしみ美しく明るく生きることに努めましょうとの提言で締めくくられた。

第三部の懇親会は、最初に、綿貫顧問から、今年卒寿を元気で迎える秘訣は休肝日なしに続ける毎日三合の日本酒にあり、今日も一緒にしっかり飲みましょうとのお話を聞いた。次いで、ご自身も同窓生(高30)である林誠一校長から祝辞を賜り、伝統の応援歌練習会は脈々として続いていること、また、ICT教育の県の指定を受けてトップを目指していること、そして、生徒たちが何より頑張っていることを述べられた。

祝電の披露に続いて、最長老の中島知行顧問の乾杯発声で賑やかに開宴となった。宴の進行に伴い、今年も初参加の会員の紹介があった。

宴の幕に近づくころ、礪波高校の校歌と応援歌の斉唱に続いて、記念の集合写真撮影を行い、矢農正友副会長(高13)の中締めで散会となった。



『臥薪嘗胆』、最後に『校歌』を歌って、昔を思いだし盛り上がりました。

最後に、参加者全員で母校の発展と支部全員の健康と幸せを祈念し、また、一年後の再会を誓い万歳三唱して、散会となりました。

井波支部

平成28年度の双葉会役員総会並びに懇親会が、10月20日(土)午後6時半から千成寿し店において、母校から藤井修二校長先生をお迎えし、支部役員13名が出席して開催され、玉井支部長の挨拶で開会しました。

ここ2~3年、毎年出席の礪波同窓会名誉会長、綿貫民輔先生(中32)は急きょ欠席されましたが、藤井校長から3年後の創立110周年記念事業やラグビー部をはじめ砺高生の活躍ぶりを聞き、後輩達の栄誉を共に喜び、先生方のご尽力に改めて感謝しました。

また、藤井校長は、井波出身で中学校時代は井波支部事務局の豊川(高27)と同級生だったことから、懐かしく久しぶりにゆっくりお話しさせていただきました。それから、会員の榎木富夫さん(高11)が春の藍綬褒章を受章されたことが報告され、本日参加の皆さんが榎木さんから美味しいお祝いの饅頭を頂戴しました。

懇親会では、思い出話に花を咲かせ、全員で校歌と応援歌を合唱し、母校の発展、会員の健康と幸せを祈り、解散しました。なお、玉井紀一井波支部長が2月26日に76歳で急逝されました。ご冥福をお祈りいたします。



砺波支部

平成29年度の礪波同窓会砺波支部役員総会は、6月3日(土)16時30分より、総勢36名の参加を得て、砺波市矢木地区の「草の家」で開催しました。総会は、平井支部長の開会の挨拶に続き、来賓の新納同窓会長より同窓会活動の報告、4月22日(土)「東京礪波同窓会」の内容等の話がありました。

また、新しく着任されました林学校長からは、当校の学生は、勉強だけではなくクラブ活動や生徒会活動にも力を投入しており、活気のある学校生活を行っている話がありました。

引き続き、総会の議題審議に入り、平成28年度事業報告、収支決算報告そして、平成29年度事業計画(案)、収支予算(案)の説明があり、満場一致の承認を得ました。

その他、平成29年度砺波高校の主な行事予定について中島事務局長より説明がありました。

支部総会恒例の「会員スピーチ」では、講師：金井正信さん(高24回卒)より、「町医者になって思ったこと」(病院勤めと町医者暮らし)と題して、研修医、勤務医、砺波総合病院時代の話、そして、町医者となってからの21年間のことを楽しく話をいただきました。

また、かかりつけ医、砺波医師会の今後の課題として地域医療、人材不足等大変参考となる話を聞かせていただきました。

懇親会では、時間の過ぎるのも忘れて歓談をし、親交を深めました。最後に、林学校長の首頭により、同窓会砺波支部会員と母校の発展を祈念して万歳三唱がありました。

予定の時間を超えての散会となりました。



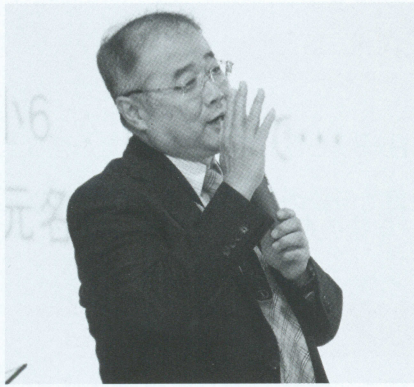
福野支部

第89回砺中・砺高同窓会福野支部総会及び懇親会が、毎年恒例の2月11日(土)午後六時より福野文化創造センターヘリオス内『トレミー』にて開催されました。

当日は、砺波高校から藤井修二校長先生をお招きし、支部会員11名の出席を戴きました。吉井正和支部長の開会の挨拶に続き、藤井校長先生より砺波高校の近況報告を戴きました。

懇親会では、山崎信之先輩(高9商)の乾杯の発声で始め、続いて参加者全員の自己紹介及び近況報告を行い、親睦を深めました。また、応援歌を全員で『一脈(ひとすじ)湧(よ)せて』、





創立記念講演

『今』を生きる

松本 謙一
(高28回卒)

1 私にとっての砺波高校三年間： 「理数科在籍の剣道馬鹿。」

- 1) 誰に何と言われようと三年間続けた『剣道部』
1年間 363日の練習、引退は高校3年の秋季大会後…。故山本捨吉先生の最後の剣道部主将としてできることは精一杯取り組めた。今でもお盆には先生のお墓参りに仲間が集まっていることが、充実した毎日だった証拠ではないだろうか。
いったい何のために練習するのだろうか？ やってもやっても切りがないのに…。試合に臨むといつも大きな不安が襲ってくる。その不安に打ち勝ち『平常心』で臨めるように、そして負けても精一杯やりきったと自信をもって自分に言えるように…。それだけのためにみんなで取り組む。



砺波高校第28回卒業生同窓会(還暦記念) ますます一脈冴えて 2017 平成29年1月2日

プロフィール

南砺市(旧城端町生まれ)
昭和48年4月 砺波高校 入学
剣道部で主将を務める。インターハイに出場した。
富山大学大学院 教育学研究科 修了
現在は金沢大学大学院教授、富山大学名誉教授。
生活科・総合的な学習の時間、理科、幼児教育と子どもの主体性を大切にしたい学びを、全国各地で指導・講演している。

2) 奔放で多様な個性の集合体：『理数科』

40名中37名が男子で、理数科でありながら文系の割合も高かった。人間としての多様性は、普通科を遥かにしのぐ「超個性派集団」。多々あるエピソードは文面にはしにくいので割愛する。
今年1月、第87回卒業生の同窓会を理数科が幹事で行った。理数科が幹事で大丈夫かと最初は心配する声もあったが、何と12名の仲間が幹事を快く引き受けてくれた。その甲斐あって、80名を超える仲間が集ったところに、砺波高校の絆の強さを実感できた。

2 教師として多くの子どもや仲間と出会い、学び続けてこられた今日まで

大学で地質学・岩石学にのめり込んでいたものの、大学院受験に失敗し、いわゆる「でもしか小学校教師」として、社会生活をスタート。しかし、それがよかったか？

『先生、僕がんばる!』と、私が言った一言を信じて努力する子どもたちとの出会い。この『感情』が渦巻く世界・人間であることの素敵さに気付かせてくれたのは、紛れもなく出会った子どもたちだった。

さらに、子どもたちの発想のユニークさ、柔軟さに、無限の可能性を実感させてくれたのも子どもたちだった。

教師が授業に情熱を燃やし、工夫を凝らせば凝らすほど、ぐんぐん成長していく子どもたちの力強さに、いつしか自分が生きる道はこれではないかと思うようになり、気がついたら自分のやりたいことをとことん極められる大学教員(教科教育・授業研究)になっていたというのが、本当かもしれない。

3 『今』を生きる皆さんへ

今回の母校での講演をきっかけに、高校卒業から現在までの自分を振り返ってみたとき、まさかこんな人生を歩んでいくとは、当時、予想もしていなかったことに気付かされる。人生は『ドラマ』なのだ。そう考えたとき、皆さんに胸を張って言えることは、次の二つしかない。

一つは、「今を精一杯生きてほしいということ」。高校時代を単なる通過点と捉えた生き方では、何も残らない。振り返ってみたとき、かけがえのない『体験』として強く残る過ごし方をしてほしいものである。

二つ目は、よい生き方は、その人ならでのものであり、客観的な物差しはない。ゴールが決まっていない中で、自己決定を繰り返し、責任をもって生きていくしかないのである。

『今』を精一杯生きることの繰り返しこそ、何より尊いのである。能力以上のことを求めすぎると破滅する、でもって生まれた能力を開花しないまま人生を終えることも不幸ではないだろうか。

『反省』しても『後悔』するな!

この言葉は、還暦を迎える私が、今も変わらず自分に言い聞かせている大切な一言である。

生徒の感想より

- ・「君たちが頑張っているから、砺波高校出身と堂々と言える。」との言葉に気づかされたことがあった。
- ・自分に自信を持って進むことが大事だと思った。
- ・子供の発想や行動は純粹に心から起こさせるもので大切なものだと思った。
- ・答えのない問題に直面しても、自分でよく考えて後悔しないようにしたい。
- ・勉強ができる人も大事だが、我慢できる人がよりよく将来を開けると思ったので勉強だけでなく部活や友達とも交流して高校生活を送りたい。
- ・松本先生は、なんとなく始められた『先生』という今の仕事を楽しんでおられる感じがした。



同級会だより

高52回（平成12年3月卒業）同窓会

「〇〇君って実は初めて話すよね。」

そんな声が聞こえてきたので、昨夏に開催した私たち高52回生の同窓会は成功だったと思います。

今回の同窓会では、多くの同級生に集まってもらおうと思い、Facebookやメール、LINE等を使い、出来るだけ直接声をかけました。当日は和泉先生をはじめ5人の先生方を招待し、約40人の同級生が久しぶりに砺波の地で集う事が出来ました。

卒業から十数年経ち、同級生は砺波、富山で活躍している人、石川、福井など近郊で活躍している人、東京、大阪など遠方で活躍している人など様々でした。全体的には県内で活躍している人が多く、(私のような東京メンバーからすると)地元と同級生が多いのは頼もしい限りです。また、同じクラス内だけではなく、別のクラスだった同級生とも何故か打ち解けあえるのが同窓会のいいところだと思いました。

私の好きな映画「フォレストガンプ」にこんな言葉があります。『人生はチョコレートの箱。食べるまで中身は分からない』

まさに、16年前、高校を卒業したときには、こんな風に同窓会で初めて話す人がいるなんて思いもしなかったでしょう。在校生のみなさんは、合唱コンクールや球技大会、体育大会等1つ1つのイベントに精一杯取り組んでください。すると、5年後、10年後に食べるチョコレートは、きっと濃厚なものになっていると思います。(林 裕)

ゴルフをもっと深く もっと楽しく

毎年4月29日に開催しておりました砺波中学、砺波高校同窓会大ゴルフ大会（第106回碧流会ゴルフコンペ）ですが、今年度は9月24日(日)にゴールドウインゴルフ倶楽部にて開催することになりました。碧流会名誉会長綿貫民輔先生が卒寿の節目を迎えられる記念の大会となりますので、奮ってご参加頂きますようお願いいたします。

(碧流会事務局 安田友三郎 (高17) 記)

■ 富山県高校 OB 対抗ゴルフ大会 H29.6.4

個人〈グロスの部〉 準優勝 吉田 有作
アウト イン グロス
 38・39-77
 〈ネットの部〉 準優勝 石橋 弘行
グロス ハンディ ネット
 78-9-69

よく頑張った！ 第4位 (出場校 27校)

(代表) 新納 耕一 (幹事世話人) 安田友三郎
 (選手) 米田 行男 (高24回) 田中 延佳 (高25回)
 石橋 弘行 (高33回) 今井 昭浩 (高34回)
 石井 雅 (高38回) 片岡 勇次 (高38回)
 吉田 有作 (高38回) 角谷 匡隆 (高44回)

優勝	富山中部高校	442
準優勝	富山北部高校	452
3位	小杉高校	454
4位	砺波高校	454
5位	富山東高校	454
6位	高岡南高校	457

これからも 砺波高校にエールを

- 中村 和子 (高10)
- 中村 敦子 (高32)
- 中村 真夕 (高64)
- 中村 祐太 (高65)
- 中村 洸太 (3年生)



私が砺波高校に入学したのは、もう40年も前です。一番近くの学校だったことや両親が砺波高校の卒業生だったこともあり、何となく砺波高校に入学した私は、入学してすぐに後悔しました。周りの人たちが目標を持って勉強しているように思えたからです。入学したことで浮かれているうちに、どんどん勉強が進んでいきました。本当にこの学校でやっていけるのだろうかと不安でいっぱいになりました。

そのうちに学校にも慣れ、高校生活を楽しめるようになりましたが、だんだん進路について考えるようになりました。父は、「女が大学になんか行ってどうするんだ。」と言っていました。その当時でもほとんどの友達が大学進学を目指していましたから、ぼんやりした私でも焦りました。必死で頼んで、何とか地元の大学なら仕方ないと許してもらいました。今なら考えられないことです。私の上の2人の子は県外への進学を当然のように希望しました。寂しいけれど、私は全く反対できませんでした。

今ではすっかり古びてきている校舎ですが、私たちが入学した時は、前の古い木造校舎でしたので、私には新校舎になります。建て替え工事が始まってからも大変で、特別教室を区切って仮の教室にしていました。教室棟ができあがった時は、卒業間近の3学期でした。新しい教室で勉強した記憶はほとんどありません。我が子が入学してから校舎に入ってびっくり。広くて落ち着いた教室だったはずがすっかり古くなり、ずいぶん歳を重ねてきたものだと思いました。当時の高校はちょうど70周年でしたが、それから30年が過ぎ百周年を迎えた年でしたから当たり前ですね。

末の息子は今年3年生となり、高校生活の最後を楽しんでいます。4月の応援歌練習会では、周りの人に勧められ応援団の一員として参加しました。なかなかうまく

覚えられない、うまくいかないとも悩みながらも毎日の練習に取り組み、当日は「楽しかった。」と、いい顔で帰ってきました。

先日引退したバスケットボール部の活動でも、勉強との両立で苦労はしていましたが、最後までやり抜くことができました。最後の試合は、強豪校との対戦でしたがあきらめることなく必死で食らいつき、1年生から3年生まで心を一つに戦っている姿に涙が出るほど感激しました。

砺波高校に入学して、すばらしい先輩や仲間にも恵まれ、本当に幸せだと思います。残り少ない高校生活を仲間と共にさらに充実したものにしてほしいと思います。

今回、この原稿を書くにあたり、昔のことをいろいろ思い出し、家族と共通の話題で盛り上がり楽しい時を過ごすことができました。こんな素敵な機会を与えてくださった先生方に感謝したいと思います。

そして、3人の子供たちは、みんな卒業してしまいましたが、これからもずっと砺波高校を応援していきたいと思っています。



栄光の記録

【陸上競技部】

◇第22回富山カップ陸上競技大会
 男子800m 4位 松本 竜河 33H
 男子U20砲丸投 4位 岩崎 史也 22H
 女子走幅跳 5位 白山 穂翔 22H

◇第70回富山県高校陸上競技対校選手権大会
 男子800m 2位 松本 竜河 33H
 女子3000m 3位 白江 彩 35H
 女子走幅跳 4位 白山 穂翔 22H
 ※以上 北信越高校総体出場
 男子400m 7位 松本 竜河 33H
 女子3000m 7位 福田菜々子 11H
 女子1500m 8位 白江 彩 35H

◇第56回北信越高校陸上競技対校選手権大会
 男子800m 5位 松本 竜河 33H
 ※インターハイ出場



【バスケットボール部】

◇富山県高校総体バスケットボール競技
 女子の部 ベスト8

【卓球部】

◇富山県高校総体卓球競技
 女子学校対抗 ベスト8

【ソフトテニス部】

◇富山県高校春季大会ソフトテニス選手権大会
 シングルス 2位 米道 潤紀 35H

◇富山県高校総体ソフトテニス競技
 男子団体 3位 ※北信越大会出場
 男子個人 ベスト8
 野原 海斗 21H 組
 米道 潤紀 35H



【サッカー部】

◇富山県高校総体サッカー競技
 ベスト8



【剣道部】

◇第59回富山県高校剣道春季大会
 男子個人 ベスト8 山本 泰斗 21H
 女子団体 2位

◇富山県高校総体剣道競技
 男子個人 ベスト8 山本 泰斗 21H ※北信越大会出場
 男子団体 ベスト8
 女子団体 ベスト8

【放送部】

◇第56回富山県高校放送コンテスト
 アナウンス部門 優秀賞 東 美沙 31H
 " 優秀賞 大西 尚也 35H
 ※以上第64回NHK杯全国高校放送コンテスト出場
 " 優良賞 柳瀬 亜衣 35H
 " 優良賞 田畑 知美 34H
 " 優良賞 仲筋 愛莉 21H
 朗読部門 優秀賞 堀越 あゆ 31H
 ※第64回NHK杯全国高校放送コンテスト出場
 ラジオドキュメント部門 優良賞
 テレビドキュメント部門 優良賞
 創作ラジオドラマ部門 優良賞
 校内放送研究発表部門 優良賞

【水泳】

◇富山県高校総体水泳競技
 男子50m自由形 3位 大門 駿介 25H
 男子100m自由形 4位 大門 駿介 25H
 女子100m平泳ぎ 3位 竹田 紗帆 35H
 女子200m平泳ぎ 3位 竹田 紗帆 35H
 ※以上 北信越大会出場

【新体操】

◇富山県高校新体操春季大会
 女子個人総合 2位 佐藤 陽奈 21H
 ◇富山県高校総体新体操競技
 女子個人総合 4位 佐藤 陽奈 21H
 5位 砂道 優花 13H

【将棋】

◇富山県高校将棋選手権大会
 男子個人 3位 吉岡 雅浩 32H

平成29年度入試結果

— 2年連続東京大学の現役生2名合格（文Ⅲ、理Ⅰ） —

今年の全国的な傾向は、国立大の学部の再編が相次ぎ「地域」や「国際」の名が付く学部が多くできました。また、前年から引き続き文系学部の統廃合と、理系学部の増設新設が目立ちました。

生徒は、砺高生らしく最後まであきらめない強い気持ちで入試に立ち向かい、東京大学をはじめ国公立大学に対して健闘しました。特に前期試験不合格にもかかわらず、後期試験まで全力で取り組んだ生徒が目立ちました。

平成27・28・29年度 大学合格一覧

()内は過年度生の内数

国公立大学	H27年度	H28年度	H29年度	私立大学	H27年度	H28年度	H29年度
北海道大学	2	3	4	自治医科大学		1 (1)	
東北大学	1	3		青山学院大学		2	1
筑波大学		2 (1)	3	上智大学	1	3 (2)	
千葉大学	7	6	2	中央大学	3	11 (1)	2
東京大学	1	2	2	津田塾大学		5	1 (1)
東京学芸大学	2			東京理科大学	6 (2)	5	3
東京外国語大学	1	2		法政大学	4	7	7 (3)
お茶の水女子大学		2		明治大学	3	5 (2)	1
新潟大学	12 (1)	8 (2)	11 (1)	立教大学	1	4	1 (1)
富山大学	44 (2)	23	35 (3)	早稲田大学	3	4 (2)	
金沢大学	25 (5)	27	35 (3)	金沢工業大学	25 (3)	13 (1)	16 (2)
福井大学	3	3	2	京都女子大学	12 (1)	22	9 (1)
信州大学	6 (1)	6 (2)	3	同志社大学	20 (10)	16 (5)	8 (1)
名古屋大学	4 (1)	6 (1)	1	同志社女子大学	9 (1)	3 (1)	1
大阪大学	2	4 (1)		立命館大学	60 (5)	49 (4)	41 (7)
神戸大学	4	4	2 (1)	関西大学	11 (4)	7 (2)	9 (6)
広島大学		1	1	関西学院大学	1	3	4
国公立医学科	6 (2)	1	2 (1)	防衛医科大学		1 (1)	
国公立延べ合格数	163 (14)	147 (9)	138 (12)	私立大学延べ合格数	327 (46)	339 (29)	262 (41)

慶弔関係

○叙 勲 (平成28年度 秋の叙勲)

山下 富雄 (28代校長) 瑞宝小綬章
〔平成29年度 春の叙勲〕

中西 彰 (29代校長) 瑞宝小綬章 鍋澤 俊夫 (高10回) 旭日双光章
永井 良幸 (高14回) 瑞宝双光章 舘 俊博 (高17回) 瑞宝双光章

○訃 報 (平成28年8月～29年4月)

小野田澄子 (旧職員) 藤井 安壽 (前校長ご尊父) 小西 巖 (高12回) 西井 幸子 (高4回・併)
浅島 郁美 (高14回) 吉井 正一 (中29回) 玉井 紀一 (高11回) 古瀬 彰 (高5回)
藪田 行克 (中25回・旧職員) 平岡 正信 (中27回) 渡辺 昭洋 (高14回) 深田 誠二 (中37回・旧職員)
飴本 喜一 (旧職員) 辻 純雄 (高6回・旧職員) 西村 松信 (旧職員)

(事務局に連絡あった方のみ)

教職員異動

退職 藤井 修二 八田 正恵

転出 尾崎 秀一 西野 広子 横川 秀仁 大代 敏彦 寺崎 清光
往蔵 健 安田 満 水上奈津紀 坂田 就海 島田 諒

転入 林 誠一 清玄寺吉郎 坂口 慎吾 浅井 正浩 藤井 泰紀
定村康太郎 照井 克朗 高田あかね 小林 忠文 永田 倫之
嵯峨 尚恵 角田 圭市

編集

礪波同窓会事務局

〒939-1385
富山県砺波市東幸町 3-36
富山県立砺波高等学校内
TEL 0763-32-2447
FAX 0763-32-2955
HP <http://www.tonami-h.tym.ed.jp/>
E-mail dousou@tonami-h.tym.ed.jp

印刷

株式会社 吉田印刷所
富山県砺波市表町 9-1
TEL 0763-33-2161